

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和2年4月2日掲載

2年1組 川口 理紗

新型コロナウイルスの影響による休校中、友達と会えないことや話せないことが続いた。冬休みや夏休みと違い、不要の外出はできない。そんな状態が続いて、私はとても不安になった。

「いつまでこの状態がつづくのか」「このままクラス替えになり1年2組での思い出をつくれないのではないか」「もしかしたら。もう学校に行けないんじゃないか」など、たくさん考えた。

休校になったのは、感染を広げないためなので仕方のないことだと思うが、私たちの学校でも、在校生が参加できない卒業式となった。私は卒業生と最後のお別れができなくて、とても残念な気持ちになった。

また、家族との会話でも、一番考えることは「早く友達と会って、たくさんたわいなきことを話したい」「みんな元気になっているかな」など、友達のことばかりだった。

新型コロナウイルスが世界に広がり学校に行けなくなって、私は改めて友達や学校の大切さを考えることができた。気持ちを新たに、新学期をスタートできることを願いたい。